

# 操作やショートカットキーについて

## ノートの表示・非表示

ノート1	⌘ F1
ノート2	⌘ F2
ノート3	⌘ F3

## ノート背景の不透明度の変更

不透明度を上げる	⌘ ]
不透明度を下げる	⌘ [
不透明度をデフォルト(80%)に戻す	⌘ 0

## ノートのクリア

各ノートの右上にある小さな「x」ボタンで内容をクリアできます。  
※クリアすると元に戻せないためご注意ください。

## アプリをシフトキーを押しながら起動

ノート1がテキストモードですぐに書ける状態で起動します。

## PDFモードのノートで

PDFのズームイン	⌘ +
PDFのズームアウト	⌘ -

## テキストモードのノートで

文字サイズの拡大	⌘ +
文字サイズの縮小	⌘ -

※文字サイズは一括変更です。

## テキストモードでの画像貼り付けについて

貼り付けた画像は、マウスドラッグで拡大縮小できます。(アスペクト比固定)  
この時、コマンドキーを押すことで貼り付けサイズをデフォルトに戻せます。  
また、画像をダブルクリックで拡大プレビューできます。

# Auto Hide機能について

Auto HideがONの場合、Side Noteアプリが前面(アクティブ)ではない時に、ノートの上でマウスカーソルを停止させると、ノートがゆっくりフェードアウトします。  
作業の邪魔になる時に、マウスホバーで一時的に非表示にできる機能です。

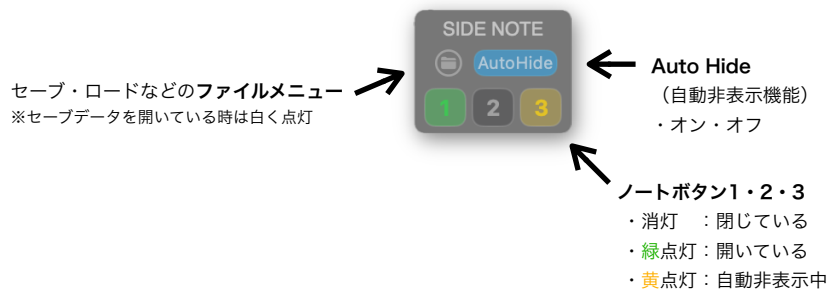
また、完全に消える前にクリックやスクロールホイールの操作を行った場合や、マウスカーソルが動き続けている場合も、一時的にキャンセルされます。(見ているPDFのページを送りたかっただけなのに非表示になってしまう、という状況を防ぎます。)

マウスカーソルが一度ノート上から外れるとキャンセルは解除され、次にノート上でマウスカーソルを停止させた時には、再びフェードアウトします。

完全に非表示になると、ノートのボタンは黄色になります。

黄色になっているノートは、Side Noteアプリをアクティブにすると表示状態(緑)に戻ります。

(⌘+TabでSide Noteアプリケーションを前面にすると表示されます。)



# セーブについて

アプリ起動時にドキュメントファイルを作る必要のない設計です。  
起動時は常に空っぽの状態です。  
(一時的な使い捨てメモの時の煩わしさをなくす仕様です。)

再利用する必要がある場合はセーブしてください。

セーブするとノートに書き込まれたテキストや、貼り付けた画像、PDFはすべてコピーされパッケージとして保存されます。  
(参照元のデータを全て取り込みます。)  
セーブデータをロードすると、ノート位置、ノートの内容が復元されます。

セーブデータはパッケージになっています。

右クリックで中身を見ると中に取り込まれた書類が内蔵されています。  
(名称は変更されています。)

Side Noteがない場合や、セーブデータが壊れた場合でもテキストやPDF・画像は救出できます。

# その他

テキストモードのノートは画像含め、ファイルメニューからPDFとして書き出すことができます。

PDFやテキストの編集機能についてですが、基本ビューアーとして使うものなのでほとんど実装していません。  
ですがアップルのエンジンを使っているため、右クリックすることでそれなりのことは機能するようです。  
テキストエディット並み・PDFもプレビュー並みくらい。(注釈とかはつけられないけれど。)  
試してみてください。